

商業（ビジネス情報）

| | | | | | | | | | |
|------|-----|----|----|----|-----|-----|-------|----|--|
| 履修単位 | 3単位 | 学年 | 2年 | 学科 | 商業科 | コース | 情報コース | 区分 | 必修・ 選択 |
|------|-----|----|----|----|-----|-----|-------|----|--|

1 学習内容と学習目標

ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。

ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用した業務を合理化、自動化するなどエンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。

2 教材等

教科書：ビジネス情報 新訂版（実教出版）

補助教材：情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報1級（実教出版）
 情報処理検定模擬試験問題集プログラミング2級（実教出版）

3 年間学習計画

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 考查範囲 |
|--|--|---------|---|------------------|
| 一 学 期 | 第1章 ビジネスと情報 1節 情報化社会とビジネス 2節 ネットワークとビジネス | 4 | ○ICTに関する知識や技術とともに、ビジネスのしくみや関連する法規の知識、また、これらの知識や技術を自らの問題として解決に役立てる姿勢やモラル・マナーについて学習する。 ○現代のビジネスの実例を通して、これらのビジネスにおけるICT活用の基礎知識について学習する。 | 中間 考查 |
| | 第2章 情報通信ネットワークの活用 1節 ネットワークの基礎 2節 ネットワークの構築と管理 3節 サーバ管理 | 5 | ○ネットワークの構築についての基礎知識について学習する。 ○ネットワーク構築に必要なネットワークの設定方法について学習する。 ○サーバの管理について学習する。 | 期 末 考 査 |
| | 4節 セキュリティ管理 第3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 集計処理 | 6 | ○サーバやネットワークのセキュリティ管理について学習する。 ○表計算ソフトを活用してさまざまな情報を管理、分析、活用し、業務に役立つ合理化について学習する。 | |
| | 2節 オペレーションズリサーチの基礎 3節 ビジネス計算 | 7 | ○表計算ソフトウェアの応用的な操作技術としてマクロに関する操作技術や処理手順について学習する。 | |
| | 《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した印刷物、考查訂正 等 | | | |
| 《第1学期の評価方法》 定期考查、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。 | | | | |
| 二 学 期 | 3節 ビジネス計算 4節 手続きの自動化 | 9 10 | ○表計算ソフトウェアの応用的な操作技術としてマクロに関する操作技術や処理手順について学習する。 | 中間 考查 |
| | 第4章 データベースソフトウェアの活用 1節 ビジネス情報とデータベース | 11 | ○データベースソフトウェアを活用して、データベースの検索方法やデータベースを操作するためのSQL言語について学習する。 | 期 末 考 査 |
| | 2節 データベースの利用 3節 SQLの操作 | 12 | | |

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| | 《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した印刷物、考査訂正 等 | | |
| | 《第2学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。 | | |
| 三 学 期 | 第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発 1節 システム開発の基礎 2節 アルゴリズムの基礎 【全商情報処理検定】 | 1 | ○システム開発の流れについて学習する。 |
| | 3節 表計算ソフトウェアによる開発 4節 データベースソフトウェアによる開発 | 2 | ○これまで学習したことを踏まえて表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを活用したシステム開発を行う。 |
| | | 3 | |
| | 《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した印刷物、考査訂正 等 | | |
| | 《第3学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。 | | |
| | 《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は、後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し、年間の学習成績として評価する。 | | |

学年末考査

4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

| 評価の観点と趣旨 | | 評価方法 |
|----------|--|----------------|
| 関心・意欲・態度 | 情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けているか。 | 授業態度・考査・課題提出 |
| 思考・判断・表現 | ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けているか。 | 実習への取組・授業態度・考査 |
| 技能 | 情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 | 実習への取組・授業態度・考査 |
| 知識・理解 | 情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。 | 実習への取組・考査 |

5 授業を受ける際の注意事項

- ・学習の到達度を測るため、原則として、全商情報処理検定ビジネス情報部門1級を受験する。
- ・学期ごとの定期考査の結果、30点に満たない生徒へは追指導を実施する。
- ・このシラバスは、あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。